

はまなす

〒098-1601 興部町字興部元町

電話 0158-82-2303 FAX 0158-82-2672

年間主題 「 愛し合う元気な仲間（ともだち・自然・動物・資源を大切にしよう） 」

5月聖句 『 どんなことにも感謝しなさい。』

(聖書 テサロニケ信徒① 5章18節)

<巻頭言> 自分でその人の靴を履いてみる エンパシー (empathy) の大切さ

園長 小山哲夫

新型コロナウイルス感染症予防のための「全国非常事態宣言」が出て2週間が過ぎます。しかし北海道では感染拡大が続き、今日にも非常事態宣言・臨時休校の延長が指示されます。本当に終息の出口が見えず、不安な毎日が過ぎていきます。特に北海道で医療現場のひっ迫が続いています。そして、必死に働いて下さっている医療従事者の方々が防護用品の不足と人員不足・ストレスで心身ともに限界状況が続いていることが報道されています。そのような人々に様々な形で感謝を伝える方々も増えました。ごみ（袋が破れてマスクなどが飛び出すこともある）収集の方が、ごみ袋に「ごみ収集ありがとうございます」という張り紙を見てとても嬉しく思ったとのニュースもあり、心温まるニュースでした。自らを危険に晒し使命感で医療等を守り続ける皆さんに心から敬意と感謝伝えたいと思います。



感染者の発生状況



データ出典元：首相官邸・厚生労働

興部周辺では感染者の報告が出ていないので少し安心していますが（不安をおおるような言動は慎まなければなりません）、一人でも感染者が出るとあっという間に感染拡大し簡単に止められません。様々な犠牲は伴いますが、今こそ「本当に大切にすべき」なのは何なのかをもう一度考えて、大人も子どもも「3密」になる行動を自粛しましょう。

高校3年生がツイッターに投稿したメッセージが話題となって学校の新学期を9月に移行することが検討されています。

「僕の個人的な考えですが、ゴールデンウィークにコロナウィルスが収まっていくとは思えません。実際SARSの終息には半年ほどかかっています。これから先学校は1か月ごとにずるずると休校期間を延長、延長と繰り返していくと想像します。・・・始まりはどんどん遅くなるのに、終点は変わってくれません。」



明治時代に制定された教育制度が、世界のグローバル化に対応してこなかったのが現状です。安倍首相は4/29の衆院予算委員会で、「9月入学・新学期」を導入することについて、「これぐらい大きな変化がある中で、前広にさまざまな選択肢を検討していきたい」と述べ、5/1に本格的に検討することになりました。

実現のためには多くの課題はあります。考えられるメリットは、「学習格差を埋められる」「学生生活を取り戻せる」「入試や就職活動をずらせる」「海外と入学時期が一致するグローバル化が進む」等が考えられ、デメリットは、「半年分の学費他費用負担が増加する」「会計年度が変わる」「従来の4月就職とずれる」「学年の切り替え（従来4月生～翌年3月生）」等があるそうです。6月に学校再開になっても、通常通りの教育活動ができるとは思えません。9月新学期になると幼稚園・保育所も影響を受けます。メリット・デメリットはありますが「子ども達の最善」を選択し、早期に決断すべきだと思います。

英国に在住するブレディーみかこさんは、著書「ぼくはイエローで、ホワイトで、ちょっとブルー」で息子さんと共に考え悩み乗り越えていく親子の成長を綴っています。その中で息子さんが、中学校1年生の期末試験の課題で「エンパシー（共感・感情移入等）とは何か？」に「自分で誰かの靴を履いてみること（英語の定型表現）」と答えています。似たような英語に「シンパシー（共感・同情等）」があります。シンパシーは感情ですが、エンパシーは感情や経験を分かち合う社会的能力のことです。

新型コロナウイルス感染対策では、多くの国・人々が助け合う姿が見られます。しかしその発生・感染経路などで非難し合ったり、民族性や文化までも否定するような発言も多く見られます。今こそ世界全体で「エンパシー」が必要であり、ぶつかり合い・混乱があっても、互いに多様性を認め合い「自分でその人の靴を履いてみる」力が必要だと思います。

城星学園の創立者ヨハネ・ボスコ氏は「教育は心の問題であり、子どもを愛するだけでは足りません。子どもが愛を感じるまで愛しなさい。」を教育理念を伝えておられます。愛を語る深い言葉です。エンパシーを高め、互いに感謝し合う「愛」を大切にしましょう。



新型コロナウイルス感染症予防 「全国非常事態宣言」発出により 5月11日(月)～5月31日(日) 幼稚園の臨時休園を延長します

子ども達には友達と遊べない等の寂しい思いをさせ、保護者の皆様にはご負担をおかけしています。ご理解とご協力をお願いいたします。

(保育所・預り保育・学童保育はできる限りの利用自粛をお願いします)

< 5月行事予定 >

プップの毛刈り・鱒の稚魚放流以外は中止・延期になります

<お知らせ>

- 1、マスの稚魚放流(希望者) 5月15日(水) 10:00～11:00 川水量・天候で実施
今年の鱒の稚魚放流は5/15(水)に、川の水量・天候を見て、幼稚園すぐ横の興部川で実施します。
親子で自由参加(希望者)になります。密着接触を防ぐため以下のようにクラスごとの集合時間です。

○親子で参加

○集合場所 幼稚園横の興部川河川敷

○集合時間

つくし・たんぼぼ組 10:00～10:15 (親子で自由参加)

ちゅうりっぷ組 10:20～10:40 (親子で自由参加)

ひまわり組 10:45～11:00 (親子で自由参加)

- 2、プップの毛刈り体験(希望者) 5月18日(月) 10:00～11:00 幼稚園玄関前

プップの初めての毛刈りです。濃密接触を避ける為、鱒の放流と同じように集合時間をずらします。

○親子で参加

○集合場所 幼稚園玄関前

○集合時間

つくし・たんぼぼ組 10:00～10:15 (親子で自由参加)

ちゅうりっぷ組 10:20～10:40 (親子で自由参加)

ひまわり組 10:45～11:00 (親子で自由参加)



- 3、臨時休園中、生活リズムが乱れないように気をつけましょう

睡眠不足で成長ホルモンが減少し、肥満・学業成績低下につながります。

- 4、ゲーム依存にならないように気をつけましょう

WHO(世界保健機構)がゲーム障害を病気と認定しています。

ゲーム依存は、ここ数年ゲーム機よりスマホ等のオンラインゲーム依存・ネット依存になって急増しています。

ゲーム依存はアルコール依存や薬物依存、ギャンブル依存と全く同じような症状になります。ゲーム依存は他の依存症状と同じようにやめられなくなります。休園期間中のゲーム・スマホなどをできるだけやめましょう。ゲームをする場合も親子で会話を楽しみながら短時間にするなどの工夫をしましょう。

オンライン授業などの取り組みも拡大し、IT機器に触れることが多くなります。幼児の時期から情報技術を適切に活用する基本的知識・技能(総称:ITリテラシー)をしっかり身に付けましょう。

